

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

六月三日(金)・四日(土)

午前九時半より(午前のみ)

永代祠堂経法要

※皆さんが安心してお参りいただけるよう、コロナ感染予防対策にご協力のほど宜しくお願い致します。



今号の法語



わかつちやいるけど

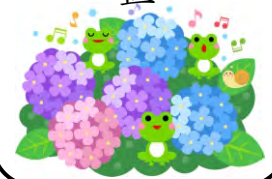
やめられない

植木等



今号の内容

- ・広濟寺で歴史講座!
- ・住職コラム
- ・ウクライナ人道支援募金箱を設置
- ・千夏のきときと日記
- ・永代祠堂経法要について



「わかつちやいるけどやめられねえ♪」で有名な「スーダラ節」。知らない人はいないくらい皆さんに親しまれている名曲です。

植木等さんの父親は浄土真宗大谷派(お東)の僧侶でした。この歌を聞いた父親は「親鸞聖人の教えによく通じている」とよろこばれたのだそうです。

私たちは頭でわかつちやいても、どれだけそれを守って生きているのでしょうか? 歌に出てくるお酒だけでなく、自分のことを考えてみても、愚痴は言うし怒りもするし、なかなかやめられないことばかり。「わかつちやいるけど♪」とはいいますが、きっと本当の意味で「わかつちやいない」、それこそ「わかつちやいるつもり」なのが私たちの姿なんでしょう。

そんな自らの姿に正直に向き合い、どこまでも自らを省みて、仏様の教えを聞き続けていかれたのが親鸞聖人でした。

広濟寺で歴史講座！

六月二十六日(日)午後二時 題してお話いただきます。

から四時過ぎまで、広濟寺にて五位組歴史講座が行われることになりました！長らくコロナ禍で中断していたのですが、満を持しての再開です。御講師にはケールブルテレビ等でもお馴染み、郷土歴史家の樽谷雅好先生をお迎えし、「二向一揆と勝興寺の歴史」と

題してお話いただきます。伏木の勝興寺は真宗王国越中において代表的寺院ですが、元は福光町の土山どやまに由来します。三年前に勝興寺の足跡を辿るバス旅行をしたのですが、今回はそれを踏まえつつ、私たちの地域の歴史的背景なども盛り込みながらお話しくださる予定です。

歴史講座と難しい言葉がついていますが、一度お話を聞いたことがある方はご存知の通り、毎回笑いあふれるざつくばらんな時間となっています。

五位組寺院全体での企画ということで、誰でも無料で当日参加できます。なかなかない機会ですので、お寺が初めてという方も是非お越しください。ね。お待ちしております♪

住職コラム

うらかな時節もまもなく過ぎ、いよいよ入梅。そして炎天を迎えます。しかし新型コロナウイルスの感染の心配は相変わらず、油断なく『マスク・手洗い・密集』等々気をつけなければなりません。

それを踏まえて、お寺に於いても年に二番目の大きな行事である『永代祠堂経法要』を六月三日・四日にお迎えすることになりました。それに

向かつて、婦人会の方々による本堂内の清掃、境内周辺の草むしりが行われました。本当に久しぶりにお念仏の称名が聞こえ味わえるひとときを、皆さまと共に過ごしたいと思

います。北陸本線とお寺の境にある花樹(梅・びわ・ぎくろ等々)の成長もすぐく旺盛で、整枝をしているところですが、身体を動かすようにと応援してくれているようです。いつもありがとう。

南無阿弥陀仏 合掌

ウクライナ人道支援

募金箱を設置しました

本堂に「ウクライナ人道支援募金箱」を設置させていただきました。高岡教区の僧侶有志の方々が活動しておられます。皆さまの温かいご支援を宜しくお願い致します。

いただいた募金は、UNHCR

（国連難民弁務官事務所）など、今最も弱い立場にいる方々の生活支援に活用される

千夏のきときと日記

約一週間前(正確には五月十七日火曜日)、朝の私たち夫婦の会話です。

若院である夫が新聞を見て、食事の準備中の私に「すぐ近くにクマが出たぞ!」と言い、それはそれは朝から大騒ぎでした。お寺からすぐ近くの国道での目撃情報というのです。いつもの私だったらすぐ「なに?」と新聞を見るのですが、食事の準備中ということ、後でまた新聞を見ようと思っていました。



それから慌ただしい朝が過ぎ、外仕事をしていると、月忌参りから一旦戻った若院が「危ないぞ、クマが近くにおるかもしれないぞ!」と注意していききました。それから急に怖くなった私は外仕事をやめて、中に入りました。

数日後、ご門徒さんと会話している中でクマの目撃情報の話になりました。するとそのご門徒さんから、「新聞には、クマらしき動物と書いてあつ



たよ。」とお返事をいただきました。私はそれまでクマと断定していたので、慌ててようやく五月十七日の新聞を見ました。確かに見出しは『クマ? 目撃の通報』。記事をよく読んでみると『車の左側を並走するクマらしき動物を見た』と高岡署に通報があったとのことでした。

自分で新聞を確認することもなく数日間クマが出たと思っていた私。クマらしき動物は、本当にクマだったかもしれないし、本当は違う動物だったかもしれません。

伝える、ということは大変難しいことです。自分が話したことが、相手にしっかりと伝わっているか。結構違っていた、ということはないですか?

私は、仏教や浄土真宗の『み教え』が長年変わらずに伝えられていることに不思議を感じていました。しかしただ伝えられてきたのではなく、異説が起こらないよう何度も何度も長い時間をかけて確認しながら伝えられてきたのです。この『み教え』をぜひ一緒に聴かせていただきますよう。



永代祠堂経

法要について

いよいよ永代祠堂経法要の時期になりました。コロナ禍以降、初めて皆さんと一緒に出勤する永代経法要となります。

今回の法要を迎えるにあたり、門徒総代さん方と話し合った結果、お齋(昼食)を控えさせていただき、両日共に午前のみという形で勤めさせていただくことになりました。黙食ならば食事も可能かもしれないませんが、やはり楽しく会話しながらの食事が一番です。早く大勢でワイワイといただきたいですね。

コロナ禍でご往生されていかれた方々を皆で思い起こしながら、仏さまに手を合わせさせてもらいましょう。

お知らせ

令和四年

永代祠堂経法要

六月三日(金)・四日(土)

午前九時半より

御講師

五位組 教願寺

岡西 法英 師

五位組 歴史講座

六月二十六日(日)

午後二時より

御講師 樽谷 雅好 氏

(郷土歴史家)

講題 『一向一揆と

勝興寺の歴史』

場所 笹川 広濟寺



編集後記

先月はたくさんの門徒さんから「若さん、大変やったねえ」と声をかけていただきました。何のことかなと思っただけでみると、私がコロナに罹ったということでご心配していただいたようでした。

というのも、月参りの際にお配りしている「月のことば」に、コロナに罹ったのですがという内容が書いてあったからです。さらにちょうどその頃、私が髪の毛を切つて坊主頭にしたことも重なってしまい、私がひどく落ち込んでいたのではと心配いただいたようです(笑)。

肝心の「月のことば」については、若藤会という京都の僧侶の方々が書いておられるものを分けてもらい、皆さんにお配りしています。今回の反響の大きさに、改めて大切に

に読んでいただいていることを実感しました。

そして私はいえ、ワクチン三回目接種の直前に、抗体検査(過去に感染していたかどうかを調べる検査※千円ほど)をしました。これだけ流行しているのですから、無症状でなっているかと思つたのですが、結果は陰性。今のところまだ罹つてはいないようです。

重症化の心配が少なくなり、感染に対する私たちの受け止めも随分変わってきたように思います。これからも適切に対応しながら過ごしていきたいと思えます。

